

令和6年度 日本スポーツ協会公認上級教師養成講習会 受講の手引き



競技名	
受講番号 (受講決定時に通知)	
氏名	

※講習会参加の際はご持参ください。また、この手引きは資格取得まで保管してください。

※この受講の手引きは日本スポーツ協会のHPからダウンロード可能です

▼トップページ > スポーツ指導者 > 指導者資格を取りたい方-養成講習会 > 上級教師-養成講習会

<https://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid210.html>



公認スポーツ指導者育成基本方針

公認スポーツ指導者育成の基本コンセプト

日本スポーツ協会及び加盟団体等は、スポーツ文化を豊かに享受するというすべての人々がもつ基本的な権利を保障するため、ライフステージに応じた多様なスポーツ活動を推進することのできるスポーツ指導者を公認スポーツ指導者として育成し、望ましい社会の実現に貢献する。

公認スポーツ指導者とは

スポーツの価値やスポーツの未来への責任を自覚し、**プレーヤーズセンタード***の考え方のもとに暴力やハラスメントなどあらゆる反倫理的行為を排除し、常に自らも学び続けながらプレーヤーの成長を支援することを通して、豊かなスポーツ文化の創造やスポーツの社会的価値を高めることに貢献できる者である。

プレーヤーを取り巻くアントラージュ 自身も、それぞれのWell-being(良好・幸福な状態)を目指しながら、プレーヤーをサポートしていくという考え方は、***プレーヤーを支援する関係者**

●公認スポーツ指導者が目指すグッドコーチ像

人物像	キーワード
スポーツを愛し、その意義と価値を自覚し、尊重し、表現できる人	人が好き、スポーツが好き、スポーツの意義と価値の理解
グッドプレーヤーを育成することを通して、豊かなスポーツ文化の創造やスポーツの社会的価値を高めることができる人	プレーヤーやスポーツの未来に責任を持つ
プレーヤーの自立やパフォーマンスの向上を支援するために、常に自身を振り返りながら学び続けることができる人	課題発見・課題解決、自立支援、プレーヤーのニーズ充足、卓越した専門知識(スポーツ教養含)、内省、継続した自己研鑽
いかなる状況においても、前向きかつ直向きに取り組みながら、プレーヤーと共に成長することができる人	逆境・困難に打ち克つ力、ポジティブシンキング、真摯さ、継続性、同情・共感、対象に合わせたコーチング
プレーヤーの生涯を通じた人間的成長を長期的視点で支援することができる人	プレーヤーズセンタード、プレーヤーのキャリア形成・人間的成長、中長期的視点
いかなる暴力やハラスメントも行使・容認せず、プレーヤーの権利や尊厳、人格を尊重し、公平に接することができる人	暴力・ハラスメント根絶、相互尊敬(リスペクト)、公平・公正さ
プレーヤーが、社会の一員であることを自覚し、模範となる態度・行動をとれるよう導くことができる人	社会の中の自己認識、社会規範・モラルの理解・遵守、暴力・ハラスメント根絶意識のプレーヤーへの伝達
プレーヤーやプレーヤーを支援する関係者(アントラージュ)が、お互いに感謝・信頼し合い、かつ協力・協働・協調できる環境をつくることができる人	社会との関係・環境構築、チームプレー、感謝・信頼、協力・協働・協調

公認スポーツ指導者育成の3つの方針(3ポリシー)と到達水準

資格認定方針(ディプロマ・ポリシー)

日本スポーツ協会及び加盟団体等は、公認スポーツ指導者育成の基本コンセプトに基づき、養成講習会の受講等により所定のカリキュラムを修了し、以下の資質能力(思考・判断、態度・行動、知識・技能)を身に付けた者を、公認スポーツ指導者として認定する。

- ・スポーツの価値や未来への責任を理解することができる。
- ・プレーヤーズセンタードの考え方のもとに、暴力やハラスメントなどあらゆる反倫理的行為を排除できる。
- ・常に学び続けることができる。
- ・プレーヤーの成長を支援することを通じて、豊かなスポーツ文化の創造やスポーツの社会的価値を高めることに貢献できる。
- ・求められる役割に応じて、スポーツ医・科学の知識を活かし、「スポーツを安全に、正しく、楽しく」指導することができる。
- ・求められる役割に応じて、「スポーツの本質的な楽しさ、素晴らしさ」を伝えることができる。

養成講習会実施方針(カリキュラム・ポリシー)

日本スポーツ協会及び加盟団体等は、スポーツ指導者に資格認定方針に掲げる公認スポーツ指導者として必要な資質能力(思考・判断、態度・行動、知識・技能)を修得させるため、すべてのスポーツ指導者に共通して求められる資質能力に関する科目と、役割に応じて求められる専門的な資質能力に関する科目を体系的に編成し、養成講習会を実施する。

受講者受入方針(アドミッション・ポリシー)

日本スポーツ協会及び加盟団体等は、公認スポーツ指導者育成の基本コンセプトに賛同する者で、養成講習会を通じて、スポーツの価値やスポーツの未来への責任を自覚し、プレーヤーズセンタードのもとに暴力やハラスメントなどあらゆる反倫理的行為を排除し、常に自らも学び続けながらプレーヤーの成長を支援することを通じて、豊かなスポーツ文化の創造やスポーツの社会的価値を高めることに貢献する意欲がある者を、養成講習会の受講者として広く受け入れる。

共通科目到達水準

SC共通	共通Ⅰ	共通Ⅱ	共通Ⅲ	共通Ⅳ
・スポーツ指導に係る必要最低限度の知識・技能を持っている	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ指導に係る基礎的な一般知識を持っている ・スポーツ指導に係る目標達成に向けた簡単な課題を解決するのに必要となる基礎的な技能を持っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ指導に係る理論的知識や事実に知識を幅広く持っている ・スポーツ指導に係る目標達成に向けた複雑な課題を解決するのに必要となる基礎的な技能を持っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ指導に係る高度な理論的知識や事実に知識を幅広く多様に持っている ・スポーツ指導に係る目標達成に向けた複雑で予測困難な課題を解決するのに必要となる高度な技能を持っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ指導に係る様々な分野の先端的知識を持っている ・スポーツを取り巻く環境の変化や未来予測を踏まえて自ら設定した課題を解決するとともに、スポーツ指導の革新を牽引していく高度な技能を持っている

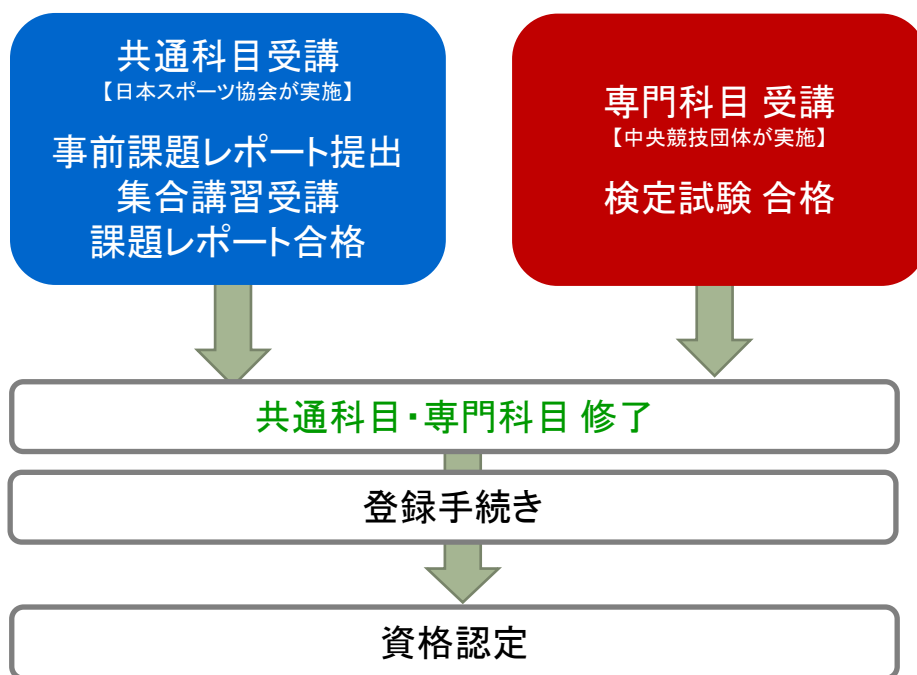
・常に自らを内省し、課題を設定することで、知識と技能の幅を広げていく意志を持っている

<目次>

受講の流れ	P6
受講の申し込みから資格認定まで	P7
共通科目Ⅳ 講習会受講会場一覧／基本日程表	P13

<養成講習会について>

養成講習会は、日本スポーツ協会が実施する「**共通科目(Ⅳ)**」
各中央競技団体が実施する「**専門科目**」で構成されています。
共通科目と専門科目の両方を「修了」し、登録手続きを完了すれば資格を取得できます。



養成講習会から資格取得に関する流れはこちらもご確認ください
https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/katsudousuishin/doc/jyukoukarakoushinmade_HP.pdf

**「公認上級教師」
(競技別指導者資格)**

役割

クラブや商業・民間スポーツ施設等における実技指導の責任者・チーフを担うとともに、当該施設等の企画・経營業務にあたる。

カリキュラム

共通科目Ⅳ:151時間以上(事前・事後学習と講習会により構成)

専門科目:80時間以上(各中央競技団体がそれぞれ定める)

カリキュラム相関図

専門科目						
メディカル・ コンディショニング資格				アスレティック トレーナー (AT) スポーツ栄養士 (SD)		スポーツドクター (Dr) スポーツ デンティスト (De)
マネジメント資格		アシスタント マネジャー (AM)				クラブ マネジャー (CM) ※5
フィットネス資格		ジュニアスポーツ 指導員 (Jr)	スポーツ プログラマー (SP)			
競技別指導者資格 ※1	スタート コーチ	コーチ1 ※2	コーチ2	コーチ3 教師	コーチ4 ※3 上級教師※4	
	共通 スタート	共通科目Ⅰ	共通科目Ⅱ	共通科目Ⅲ	共通科目Ⅳ	その他

※1 競技によって受講条件は異なる

※2 共通科目はオンライン講座による受講

※3 コーチ3の保有が条件

※4 教師の保有が条件

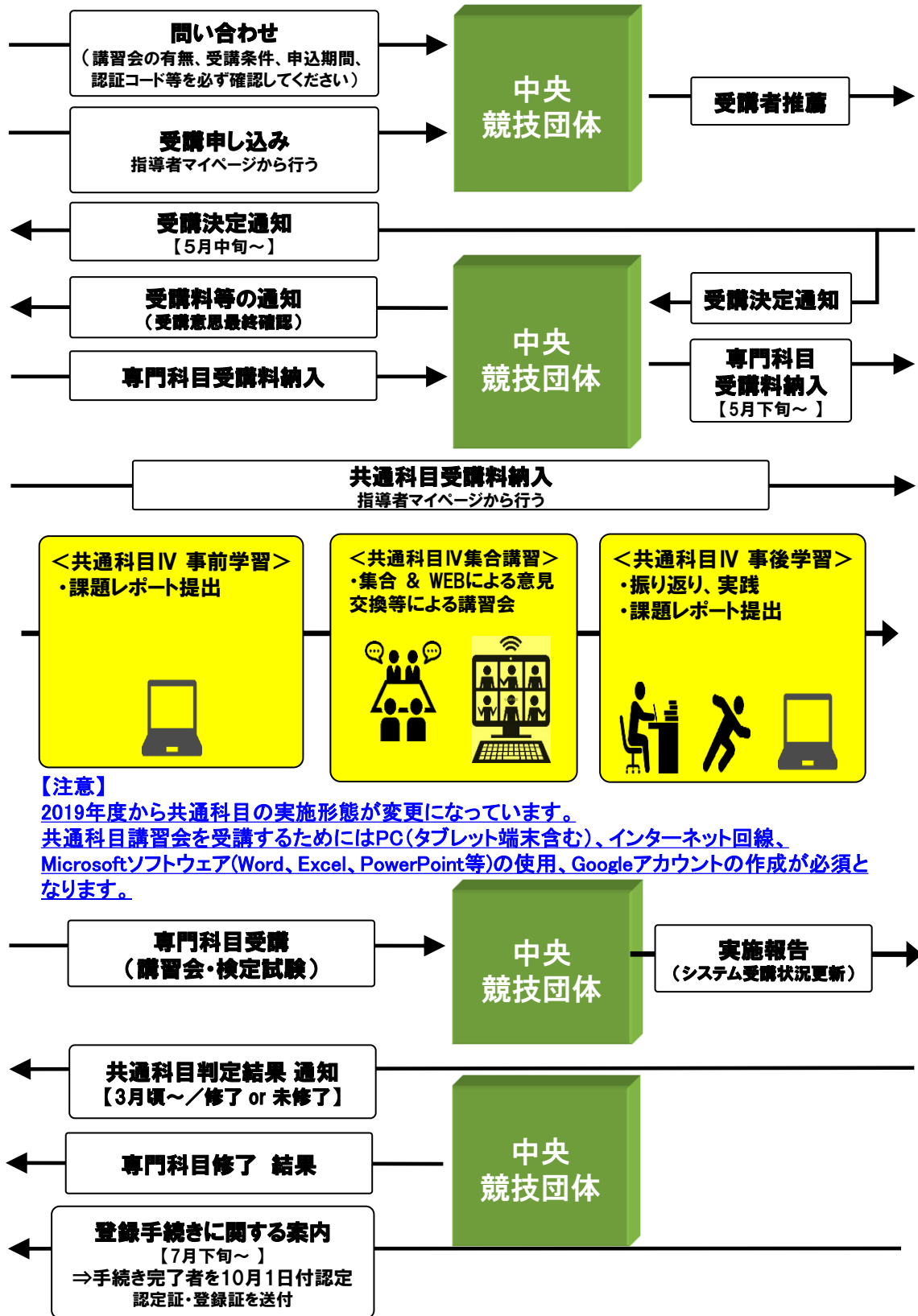
※5 AMの保有が受講条件

スポーツコーチング
リーダー※2

上級教師 受講の流れ

受講者

JSPO
日本スポーツ協会



※1 通知時期などについては、この「受講の手引き」作成時点における予定となります。

※2 競技によって手続き方法などが異なる場合がございますので、当該中央競技団体にお問い合わせください

受講の申し込みから資格認定まで

受講申し込み

受講条件

- 受講を開始する年の4月1日現在、満22歳以上の者で、当該競技団体の定める事項に該当する者のうち、以下のいずれかの条件を満たす者。
 - ① 施設の管理運営、組織内指導者やスタッフの育成・指導など、商業スポーツ施設等のマネジメントに携わる者、競技別の専門的指導者として各年代トップレベルの実技指導を行う者。
 - ② 商業施設等において、各種事業に関する計画の立案と運営、指導方針の決定など、組織内指導者の中心的役割を担う者、またはこれから携わる者。
- 当該競技の教師資格を保有している者。
- 受講有効期間内で講習会の全日程に参加が可能である者。
- インターネットサービス「指導者マイページ」から申込ができる者。

競技ごとに年齢およびその他の条件を別途定めております。

申し込みにあたっては、中央競技団体のホームページ等にて受講条件の詳細を必ずご確認ください。

※他の日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格講習会との同時受講はできません。

ただし、公認スタートコーチ(ジュニア・ユース)養成講習会は、この限りではありません。

申し込み方法



指導者マイページからの申し込み

アカウント登録・ログインを行い、中央競技団体が定める期日までにお申し込みください(詳細は「[指導者マイページ利用マニュアル](#)」のページをご覧ください)。

※ 申し込みにあたっては中央競技団体に「**認証コード**」をご確認ください。

共通科目の免除申請

以下の表に記載された他の公認スポーツ指導者資格(有効期間内)の保有者は、共通科目の講習の免除申請が可能です。共通科目の受講が免除となった場合は、受講料の納入は不要となります。

※免除申請を希望する場合は、「指導者マイページ」から必要事項を入力し、必要に応じて免除証明書類を添付してください。(詳細は「[指導者マイページ利用マニュアル](#)」をご覧ください。)

※受講申込後の免除申請は原則受理いたしません。必ず申込時に免除申請を行ってください。

※専門科目の免除要件については、中央競技団体にお問い合わせください。

保有資格・修了証明書	免除申請時 必要書類
公認コーチ4【有効期間内(4月1日時点)】	登録証(写)
公認上級教師【有効期間内(4月1日時点)】	

受講者の決定(5月中旬～)

各中央競技団体から推薦された受講希望者の申し込み内容を確認後、受講決定者には以下の書類を送付いたします。
※受講条件を満たさない場合は、受講決定に至らないこともありますのでご了承ください。

送付物(予定)

- (1) 受講決定通知(メールにて通知、共通科目集合講習の受講確定会場の通知を含む)
- (2) 共通科目講習会 受講会場一覧・基本日程表
- (3) 受講辞退届

共通科目集合講習の受講会場

会場定員とシステム処理の都合上、必ずしも第1希望の会場とならない場合がありますので予めご承知おきください。

※会場決定後の変更は受け付けておりません(専門科目講習会の日程と重なっていないかどうか必ずご確認ください)。

※同じ会場で全日程の参加をもって受講扱いとなります。

受講決定の取り下げや受講開始後の受講取り止めを希望される場合

受講決定時に通知する「受講辞退届」を中央競技団体に提出してください。

※受講料納入後の受講辞退(受講料納入後の免除についても同様に)、納入済の受講料等は返金はいたしませんので予めご承知おきください。

※受講辞退時までの受講実績はすべて取り消しとなります。

※受講辞退後、改めて受講を希望された場合は、改めて中央競技団体からの推薦が必要になり、新規受講者としてお申込みいただくこととなります。

受講有効期間について

受講有効期間は**4年間**です。

有効期間内に共通科目、専門科目を修了する必要があります。

有効期間内に修了できなかった場合は、受講資格を失い、受講実績も取り消しとなります。

受講有効期間内に受講を辞退される場合は、中央競技団体にご連絡ください。

受講料の納入

共通科目受講料については、指導者マイページからの決済となります。詳細は受講決定通知にてご案内いたします。

※当協会が定める期日までに受講料の納入がない場合は、受講取り消しとなります。

専門科目受講料については、中央競技団体からの案内に従い、受講料を納入してください。

※金額(免除内容)、納入方法、納入期限については中央競技団体にご確認ください。

※中央競技団体が定める期日までに受講料の納入がない場合は、受講取り消しとなります。

共通科目(Ⅳ)

免除無し

61,600円(税別)

免除あり

0円



専門科目

各中央競技団体が定める金額

免除あり

0円

共通科目・事前学習(課題レポート)について

共通科目の集合講習までに事前学習(課題レポート)を行っていただきます。

※ 集合講習では、一部講義で事前学習において作成した課題レポートを使用して、講義を行います。

※ 事後課題レポートは、締切り厳守となります。提出期限後の課題が提出なされた場合は、いかなる理由があっても認めておりません。



① 指導実践



② レポート作成

共通科目・集合講習の受講(1)(各会場1・2日目)

※事前学習(課題レポート)を提出していない場合、集合講習は受講できません。

集合講習は全3日間の日程となっております。

対面受講にあたる諸注意

講義開始後の遅刻および早退は欠席とみなします。

なお、公共交通機関の遅れによる場合はこの限りではありません。

(公共交通機関が遅延した場合は、必ず遅延証明書をお持ちください)

対面講習(1・2日目)ならびにWEB講習(3日目)をあわせて、同一年度の計3日間を受講する必要があります。

持ち物(予定、詳細は別途お知らせします)

- (1) 免許証等(本人確認ができるもの)
- (2) 筆記用具
- (3) 上着(冷房対策で必要になることがあります)

その他

交通・宿泊については自己手配・自己負担となります。(宿泊先の斡旋はしておりません)
お車でのご来場はご遠慮ください。

共通科目・集合講習の受講(2)(各会場3日目)

WEB講習受講にあたる諸注意

①本講習会はZoom Video Communications, Inc.が提供する「Zoom」を利用し、実施する予定です。本講習会の参加前に、「Zoom」アプリをダウンロードし、サインアップ(アカウント作成)を実施してください。すでにアカウントを保有し、アプリをダウンロードされている方は、アプリが最新版になっているか確認ください。

②本講習会は受講確認のため、ウェブカメラとマイク機能が使用可能なパソコンまたはタブレットをご用意ください。スマートフォンの使用は、画面サイズが小さいことなどから、お控えください。また、Microsoftソフトウェア(Word、Excel、PowerPoint等)、Googleアカウントの保有ならびにGoogleアプリ(ドキュメント、スライド、スプレッドシート)などの使用に関する基礎的な知識技能を有していることが参加のための前提条件となります。

③長時間のインターネット接続となるため、Wi-Fi環境での接続を推奨します。通信容量に制限がある環境での接続の場合は、契約内容や使用状況を事前によくご確認ください。

その他

参加者は、自己の責任において参加するために必要なパソコン、通信機器、通信回線その他の設備を準備し、管理するようお願いいたします。参加に伴って発生する通信回線の利用料金等は自己負担となります。最新のコンピュータウイルス対策等がなされている機器を使用してください。主催者は、受講によりコンピュータウイルスや第三者の妨害等行為による不可抗力によって生じた損害等の一切の責任を負いません。

事後学習(課題レポート)について

提出条件

集合講習の全日程を受講した方

提出物

課題レポート

※事前学習、集合講習での学び・気づきを踏まえ、ご自身の指導現場で実際に取り組んだ内容等について、課題レポートを作成・提出いただきます。

提出期限

受講される集合講習により異なります(詳細は講習時にてお知らせします)。

判定結果

日本スポーツ協会から受講者へ直接通知いたします。

事後学習の流れ

- ①集合講習全日程終了後、課題レポートについて案内
- ②課題レポート提出
- ③課題レポートの判定結果通知

【専門科目講習会および検定について】

専門科目講習会の開催案内は、中央競技団体から送付されます。

開催期間等の詳細については、中央競技団体にお問い合わせください。

※共通科目集合講習会と日程が重複する場合がありますのでご注意ください。

専門科目の検定・審査は中央競技団体が行います。

結果については、中央競技団体から受講者へ通知されるとともに、日本スポーツ協会にも通知されます。

登録手続きに関する案内 送付(受講翌年の7月下旬～)

公認スポーツ指導者として認定されるには、所定の登録手続き(登録料の支払い・登録内容の確認)を完了する必要があります。

共通科目と専門科目両方を修了された方に登録手続きに関する案内をお送りしますので、お忘れなきようお願いいたします。

登録料 *1

登録料には、以下の種類があり、これらの合計金額を納入いただく必要があります。

■基本登録料:10,000円/4年間

保有する資格の種類や数に関わらず、一律10,000円/4年間となります。

■資格別登録料:資格により異なる

保有する資格の種類によって異なります。詳細は下記のホームページをご確認ください。

■初期登録手数料:3,300円(税込)/1資格

その資格を初めて登録する際にかかる手数料です。更新登録時には不要となります。

有効期間 *2

所定の期日までに手続きを完了された方を、当該年**10月1日付**で認定し、日本スポーツ協会から「認定証」と「登録証」をお送りします。

資格の有効期間は**4年間**です。

資格の更新 *3

資格を更新するためには、有効期限の6カ月前までに日本スポーツ協会または中央競技団体等が定める研修(更新研修)を受講することが必要です。

すでに別の公認スポーツ指導者資格を保有している方(スポーツリーダー、サッカー、バスケットボールを除く)

***1 有効期間内に別の資格を追加・昇格する場合、基本登録料は必要ありません。資格別登録料は、残りの有効期間に応じた期割(4年8期)で算出されます。**

***2 有効期限は教師資格に併せられます。**

***3 有効期間内に別の資格を取得するための養成講習会を受講した場合も、更新研修の受講は必要です。**

【同一競技内の昇格の場合】

更新研修受講のタイミングは、有効期限の6カ月前までであれば、昇格の前後どちらでも構いません(水泳、テニスなど複数回の研修受講が必要な資格を除く)。

【別の競技資格の追加の場合】

元々保有している資格については、更新研修の受講が必要ですが、新しく追加された資格は、有効期間が4年間に満たないことから、更新研修の受講が一度免除されます(水泳、テニスなど複数回の研修受講が必要な資格を除く)

登録手続きに関する詳細は、日本スポーツ協会のホームページをご確認ください。

▼日本スポーツ協会>スポーツ指導者>登録に関する各種手続き

<https://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid229.html>



【確認】 必ずお読みください

【連絡】

日本スポーツ協会からの連絡はメールで行います。指導者マイページに登録しているアドレスを常に最新なものとなるよう設定してください。また、必ずcoach@japan-sports.or.jpのメールが受信できるよう設定をしていただくようお願い致します。メールが受け取れない等の責任は一切負いかねますのでご了承ください。

【不適切行為】

受講者としてふさわしくない行為(日本スポーツ協会登録者等処分規程等において違反行為と規定された行為)があったと認められた時は、日本スポーツ協会指導者育成委員会において審査し、受講資格の取消しないしは停止、受講済科目の一部ないしは全部の取消し、資格登録権利の停止等の処分を行う場合がある。なお、処分内容については、日本スポーツ協会登録者等処分規程等の関連規程に照らし合わせるとともに、受講状況等に応じて検討することとする。また、日本スポーツ協会又は日本スポーツ協会加盟団体等が受講者としてふさわしくない行為に関する事実調査を開始して以降、処分内容が確定するまでの間、当該受講者からの「受講辞退」申請は受理しない。なお、日本スポーツ協会登録者等処分規程に基づく処分を受けた者にあつては、申込当該年度の4月1日時点で当該処分に対する所定の再教育プログラムを修了し、資格等が回復していること。

【広報】

本講習会風景の写真等は、日本スポーツ協会または中央競技団体等のホームページ及びその他関連資料へ掲載する場合があります。

【免責事項】

天災地変や伝染病の流行、講習会場・輸送等の機関のサービスの停止、官公庁の指示等の日本スポーツ協会または中央競技団体が管理できない事由により、研修内容の一部変更及び中止のために生じた受講者の損害については、日本スポーツ協会または中央競技団体ではその責任を負いかねますのでご了承ください。

【個人情報の取り扱いについて】

- ・ 受講申し込みにあたり提供いただく個人情報は、公認スポーツ指導者養成団体が共同利用することとし、本養成講習会の運営・管理および諸連絡に使用します。
- ・ 「スポーツ指導者の活動に関する調査」にて取得した情報は、個人が特定される形での集計・公表はいたしません。
- ・ 日本スポーツ協会は、本養成講習会における受講管理を業務委託いたします。業務委託にあたっては、日本スポーツ協会と委託先の間で個人情報保護に関する覚書を締結し、個人情報の取り扱いについては十分注意を払っております。
- ・ 日本スポーツ協会の個人情報の取り扱いについては、日本スポーツ協会HPからご覧いただけます。

トップページ > 個人情報保護方針・特定個人情報基本方針

<https://www.japan-sports.or.jp/privacy/policy.html>



【手話通訳、要約筆記等について】

手話通訳、要約筆記等の希望や受講にあたって支援や配慮が必要な場合は、受講申込時に実施団体まで申し出るようお願いいたします。申し出があった場合、個別の状況等に基づき、総合的・客観的に判断し、必要かつ合理的な対応を講じます。なお、もしも受講をキャンセルした場合で必要かつ合理的な対応のキャンセルに伴う費用が発生した場合は、当該受講者の負担といたします。

令和6年度 共通科目Ⅳ 講習会 受講会場一覧

都市	会場番号	期 日			会場
東京	第 1 会場	9月14日(土)	9月15日(日)	10月5日(土)	1日目・2日目集合講習+3日目WEB講習(予定) 集合講習会場: JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE14階 & Zoom 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 Web講習:ZOOMにて実施
	第 2 会場	10月19日(土)	10月20日(日)	11月9日(土)	

共通科目Ⅳ 講習会 基本日程表(予定)

	1日目	2日目	3日目
8:45		受付 (8時45分～)	Zoom入室 (8時45分～)
9:00		レクチャー グループワーク	場作り (導入)
9:30	受付・入場開始 (9時30分～)		プレゼンテーション& ディスカッション ケースクリニック
10:00	オープンスペース学習 (OSL)		
10:30			
11:00			
11:30			
12:00	休憩	休憩	休憩
13:00	オープンスペース学習 (OSL) 成長計画発表・意見交換	レクチャー グループワーク	プレゼンテーション& ディスカッション ケースクリニック
13:30			
14:00			
14:30			
15:00			
15:30			
16:00			終了予定時刻：16時00分
16:30			
17:00			
18:00	終了予定時刻：18時00分	終了予定時刻：18時00分	

※この基本日程表は予定のため、変更となる場合があります。

令和6年度 共通科目IV講習会 受講会場一覧

第1・2会場(東京)1・2日目 「JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE(JSOS)」

住所	〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE
交通	「外苑前駅」3番出口徒歩5分(東京メトロ銀座線) 「国立競技場前駅」A2番出口徒歩10分(都営大江戸線) 「千駄ヶ谷、信濃町駅」徒歩12分(JR中央・総武線)



※天災地変や伝染病の流行、講習会場・輸送等の機関のサービスの停止、官公庁の指示等の日本スポーツ協会または中央競技団体が管理できない事由により、やむを得ず講習会の開催形態や会場等に変更が生じる場合がございます。予めご了承ください。